

「JPAo010 株を利用して生産されたポリフェノールオキシダーゼ」に係る食品健康影響評価に関する審議結果（案）についての意見・情報の募集結果について

1. 実施期間 令和6年11月13日～令和6年12月12日

2. 提出方法 インターネット、ファックス、郵送

3. 提出状況 2件

4. 意見・情報及び食品安全委員会の回答

意見・情報※	食品安全委員会の回答
自然の遺伝子が増えることには必然があります 突然変異としか私達には見えないものにもそこには必ず意味があります 遺伝子が増えることと 遺伝子を増えることには大きな隔りがあります 大なる自然でさえたくさんの過ちの中からより良いものが生まれてくるのに 人間の浅知恵で必ず正解を出せると考えるのは奢りです 遺伝子組換えは世界を歪める可能性を持つ危険があります 当然それを人の食品に採り入れることは危険極まりない行為以外の何物でもありません あらゆる遺伝子組換えは止めるべきです	食品安全委員会における遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物の食品健康影響評価においては、最新の科学的知見及び国内外のガイドライン等を踏まえ、食品安全委員会において検討の上作成した、「遺伝子組換え微生物を利用して製造された添加物に関する食品健康影響評価指針」（平成16年3月25日食品安全委員会決定）に基づき、組換えDNA技術によって宿主に付与されることが予想される全ての形質の変化について、これらがヒトの健康に対し有害影響を与える可能性がないことを明らかにするための評価を行うこととしています。 本添加物についても、宿主や供与体、挿入DNAの安全性だけでなく、挿入DNAの導入方法や宿主ゲノムに挿入されたDNAの近傍のDNA配列まで含めた確認を行った上で、従来のポリフェノールオキシダーゼと比較して、新たに安全性を損なうおそれのある要因は認められなかったことから、人の健康を損なうおそれはないと判断しました。
たかが数十年の歴史しかない遺伝子組換え品のリスクについて、現代の科学レベルでわかっていないだけにも関わらず、従来の添加物と比べてリスクが高くなっていないかどうかチェックして「リスクなし」とするのは、軽率	

です。 この案件に反対です。	また、遺伝子組換え添加物の使用等についてのご意見は、リスク管理に関するものと考えられることから、消費者庁に情報提供いたします。
---------------------------	--

※ 頂いた意見・情報はそのまま掲載しています。